

USB メモリーを便利に使う

フリーソフトを活用して、USB メモリーをより便利に使う方法を説明します。

(注1)フリーソフトの使用に当たっては、使用する人の自己責任で使用してください。

(注2)フリーソフトをインストールする場合、「解凍ソフト」(LZH、ZIP 等に対応)が別途必要です(例:フリーソフト「解凍レンジ」(後述))が、講習会では解凍済みのものを使用します。

フリーソフトの基本的なインストール方法

ダウンロードの際に、保存場所を「デスクトップ」に指定すると、ファイルを見つけやすい。

ダウンロードの際に、「保存」を選ぶと「圧縮ファイル」が保存されるので、インストールの際に「解凍」(展開)が必要となる。

インストールの際に、ソフトによって実行ファイルの保存場所が、「圧縮ファイル」と同じ場所になる場合と、「Program File」となる場合があるので、必要に応じて変更すること。(関連ファイルが、フォルダで保存される。)

ダウンロードの際に、「開く」を選ぶと「フリーソフト」(ファイル)がインストールされる。実行ファイルが保存される場所は上記と同じです。

1. 「解凍ソフト」を入手する

圧縮ファイルを解凍する際に、

拡張子が「.exe」のファイルは、ダブルクリックで解凍できる(自己解凍)。

拡張子が「.zip」のファイルは、Windowsの標準ソフトで解凍できるが、それ以外の拡張子の場合は、「解凍ソフト」がインストールされている

ことが必要です。

フリーソフト名: 解凍レンジ

設定方法: 解凍して出来たファイル(EasyRenge)を開いて、本体(「ERANGE」)をUSBメモリーにコピーする(ドラッグ&ドロップ)。



使用方法: 圧縮ファイルを解凍ソフト本体(「ERANGE」)にドラッグ&ドロップすると、圧縮ファイルが保存されている場所と同じ場所に、同じ名前の解凍済フォルダが出来、その中にファイル一式が作成される。

2. 「USBメモリー」のアイコンを見つけやすく表示する

「マイコンピュータ」の画面で表示される「USBメモリー」のアイコンは、「リムーバブルディスク」と表示され、他のメディア(SDカード、CFカードなど)と区別が付きにくいので、一目で「USBメモリー」と分かるように、アイコンの形をスティック状に変える。



フリーソフト名: Device XP icons 及び WindowsXP アイコン USB フラッシュメモリ

設定方法：ソフト（ファイル）を開くと、「USB メモリー」のアイコンが多数表示されるので、その中の一つを選んで、「USB メモリー」へコピーする。

以上の作業だけでは、「スティック」状にはならないが、次の第2項で合わせて設定をするとアイコンが変わる。

3. ダブルクリックして、USB メモリーを安全に取り外す

USB メモリーを安全に取り外すためには、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」ボタンをクリックした後、「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(F)を安全に取り外します」をクリックし、コメント（ハードウェアの取り外し）を確認して取り外す手順を踏む必要があるが、

このソフトを導入すると、「USB メモリー」内に出来るアイコンをダブルクリックするだけで、コメントが表示され、簡単に取り外すことが出来る。



このアイコンをダブルクリックすると安全に取り外すことが出来る

フリーソフト名：UnplugDrive Portable

設定方法

解凍して出来たファイル（UNPP0329）を開き、「Autorun」と「UnplugDrive」と言う2つのファイルを、「USB メモリー」へドラッグ・アンド・ドロップ（コピー）する。



この2つのアイコンを USB にコピーする

「Autorun」ファイルを開き、アイコンのファイル名を書き換える

[AutoRun]
;icon=アイコンファイル.ico



[AutoRun]
icon=xxxxxxxxx.ico

（注）「xxxxxxxx」の部分は、上記1で選択（USB メモリーにコピー）したアイコンのファイル名を記入すること。

以上の設定により、PCに「USB メモリー」を挿入すると、
・ リムーバブルディスクのアイコンがUSB メモリーの形で表示され、
・ 「UnplugDrive」のアイコンをダブルクリックすると、「USB メモリー」を素早く安全に取り外すことが出来るようになる。

4. 誤って消去したUSB メモリーのデータを復元させる

USB メモリーに保存しておいたファイルを、誤って消去してしまった場合に復元するソフトです。

（注）100%の復元は確約できないが、消去後上書きされていない可能性は高い。

フリーソフト名：DataRecovery

設定方法：ダウンロードした（解凍済み）のソフトを、フォルダーごと「USB メモリー」にコピーすればよい。

使用方法

起動アイコン（右図）をダブルクリックして、「DataRecovery」ダイアログを開く。

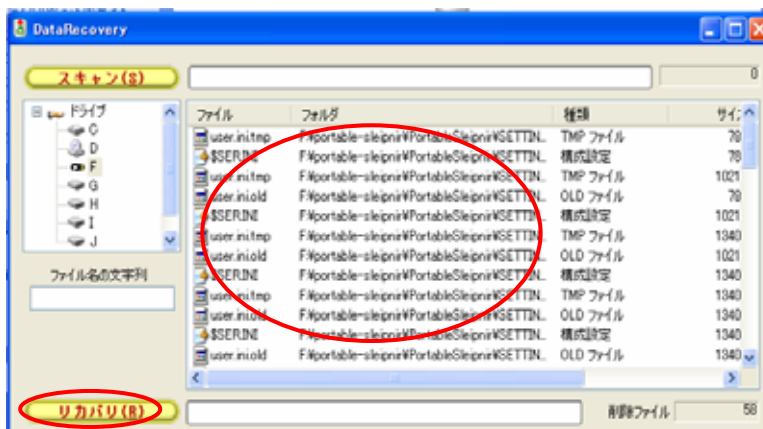


DataRecovery.exe

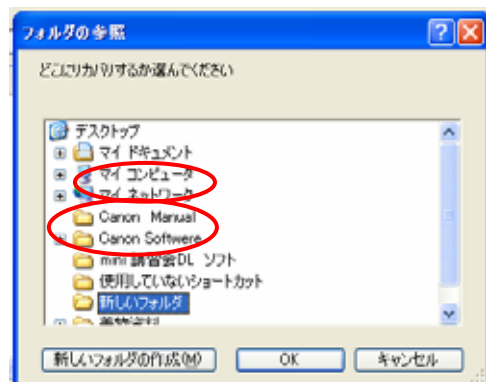
ダイアログに表示されているドライブの「USB メモリー」を選択し、「スキャン」ボタンをクリックする。



一覧表示された、削除済みフォルダの中から、復元したいものを選び「リカバリ」ボタンを押す。



復元したファイルの保存先を聞いてくるので、保存場所（例えば、デスクトップ）をクリックし、「新しいフォルダの作成」ボタンを押して、新規フォルダ名をつけて、「OK」を押す。



（注）一連の作業中に、「J-Word」のインストールをしようとするが、ここではインストールを拒否する。

J-Word とは、検索エンジンの 1 種で、インストールすると頻りにポップアップが出現したり、アップデートを重ねたりするので、煩わしいことが多い。

「復元」機能には関係のないものなので、削除しても支障は全くない。

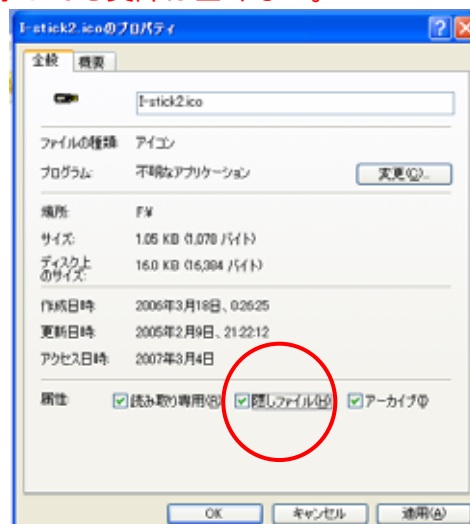
5. 「USB メモリー」のアイコン・ファイルなどを非表示にする

「USB メモリー」を表示するアイコンなどは、通常、DATA 入出力時には使う必要のないファイルなので、誤って消去しないように非表示の設定にする。

設定方法

非表示にするファイル、又はフォルダを右クリックし、メニューから「プロパティ」をクリックする。

「属性」欄の「隠しファイル」にチェック



を付ける。
「OK」若しくは「適用」ボタンを押す。

6. 自分のお気に入りを持ち歩く (インターネット)

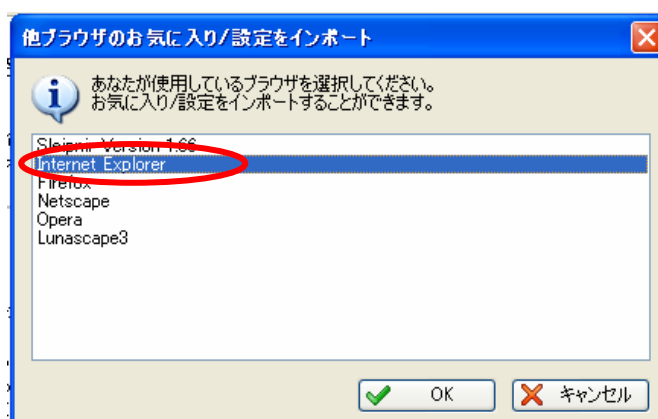
外出先のパソコンでインターネットを利用する場合、自分のパソコンに登録した、「お気に入り」が使えないが、このソフト (ブラウザ) を使うと、自分の「お気に入り」を持ち運ぶことができる。

フリーソフト名 : Portable sleipnir (タブ・ブラウザ)

設定方法

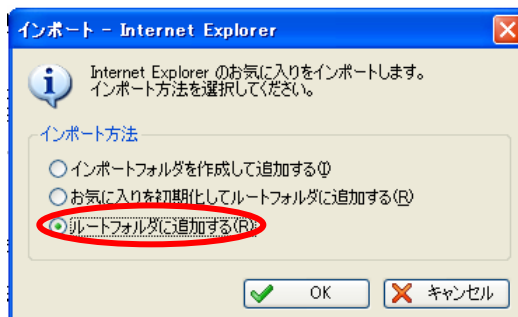
解凍して出来たフォルダ (portable_sleipnir) を「USB メモリー」へコピーする。
フォルダを開き、本体ファイル (「portable_sleipnir」) をダブルクリックして起動する。

「他ブラウザのお気に入り / 設定をインポート」の画面が開くので、「Internet Explorer」を選択し、「OK」を押す。



「インポート」ダイアログで「ルートフォルダに追加する」にチェックを付け、OK

使用方法 : Sleipnir (スレイブニル) を起動し、「お気に入り」をクリックすると Internet Explorer で設定していた「お気に入り」が取り込まれている。



最初を開くホームページは、「Sleipnir Excite」のホームページに設定されている。
タブを開いたまま閉じると、次回起動したときも、同じタブが開く。
多数の検索ボタンが用意されている。(別途説明)

(他者のパソコンを使う場合の注意)

Sleipnir は Internet Explorer の接続設定を使っているため、接続履歴が Internet Explorer に残され、Internet Explorer を起動して「履歴」を削除しておくこと。

ログインするページを利用する場合は、「次回から自動的にログインする」にチェックを付けないこと。(クッキーが保存されないようにする。)

7. 会員ホームページへのログインを簡単にする

ログインが必要なホームページを利用するには、ユーザー名 (ID) とパスワードが必要であるが、多数のホームページについてこれらを管理するのは容易でない。

パスワード管理ソフトを利用すると、管理用のパスワードを覚えておくだけで、多数のユーザー名 (ID) とパスワードをスムーズに利用できる。

フリーソフト名：ID Manager

設定方法：解凍済みソフト（「idm」）を、フォルダごと「USB メモリー」にコピーすればよい。

（Cドライブにインストール済みの「idm」を利用すると、設定がそのまま引き継がれる。）

使用方法

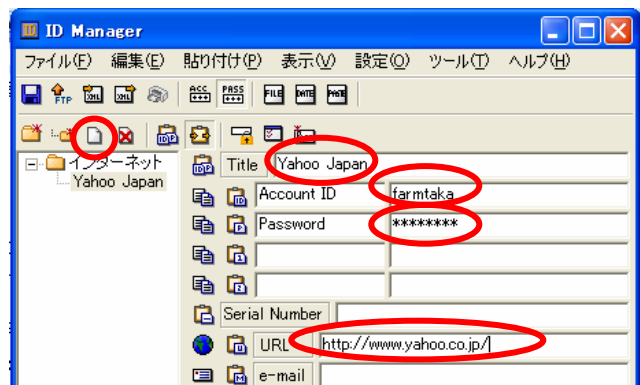
最初に起動すると、「ログイン」画面が表示されるので、「新規ユーザー」を選びこのソフトを開くための「ユーザー名」と「パスワード」を登録する。



次に開いた画面（ID Manager）で、「新規フォルダの作成」ボタンを押し、「Title」欄にグループ名（ここでは、「インターネット」とする。）を入力する。



続いて「新規項目の追加」ボタンを押し、「Title」欄にホームページの名前を、「Account ID」欄にIDを、「Password」欄にパスワードを、「URL」欄にホームページのURLをそれぞれ入力して、ダイアログを閉じる。

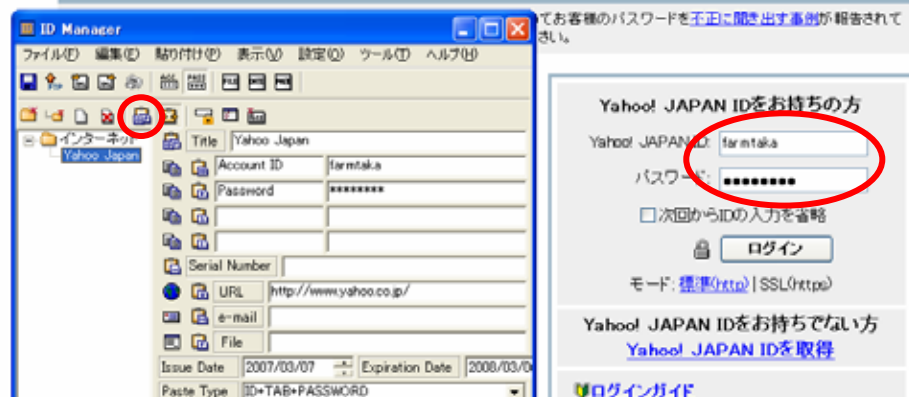


ホームページを閲覧するための、ログインが必要な場面で「ID Manager」を起動し、「一括貼り付け」（ユーザー名、パスワード）ボタンを押すと、ID とパスワードが自動入力できる。 ログインボタンを押す。



Yahoo! JAPAN ヘルプ

Yahoo! JAPAN IDとパスワードを入力してログインしてください。



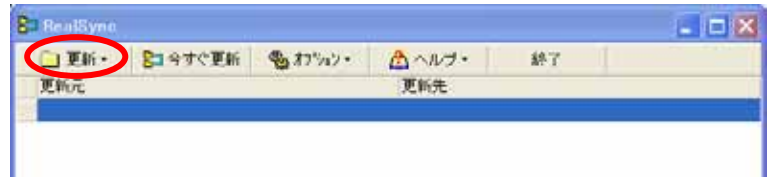
8 . パソコンと同じファイルを USB で持ち運ぶ

「USB メモリー」にデータや画像を入れて外出先で利用する場合、自宅（仕事場）のパソコンとUSBを同期させておくと、常に最新のファイルを携行することが出来る。
このソフトは、パソコンのCドライブにインストールして使用する。

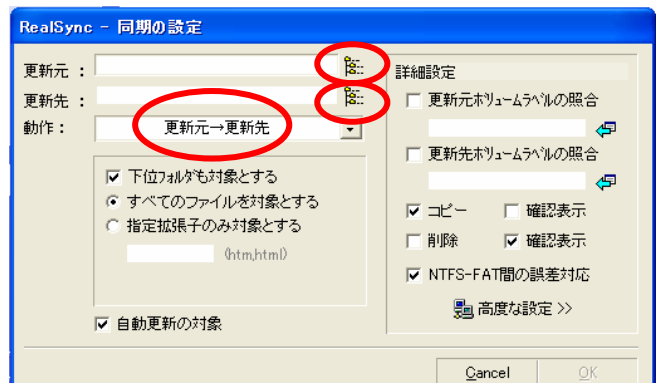
フリーソフト名：RealSync

使用 方法

インストールドライブを「Cドライブ」に設定して、インストールする。
「RealSync」を起動して、「更新」ボタンを押し、表示されたメニューから「追加」をクリックする。



「RealSync - 同期の設定」画面で、「更新元」と「更新先」のフォルダを指定する。指定の方法は、更新元（先）欄の右側にある「フォルダの選択」ボタンを押して指定する。



「動作」欄で「更新元」「更新先」を選ぶと、パソコンとUSBメモリー両方のファイルを自動的に参照して、最新ファイルを保存することが出来る。（OKで完了）

ファイル更新を同期させるときは、「RealSync」を起動して「今すぐ更新」ボタンを押すと、古い方のファイルが新しいファイルに更新される。

9 . USB 内のソフトを一発起動する

USBメモリーを開いて、直ちにソフトを起動する。（ランチャー）

ショートカットアイコンを使っても、直ちにソフトを起動できるが、ショートカットは固定ドライブにあるソフトを呼び出すものであるが、USBメモリーは挿すパソコンによって、ドライブが変わる（FとかGなど）ので、起動できなくなる場合が多い。

フリーソフト名：Clock Launcher

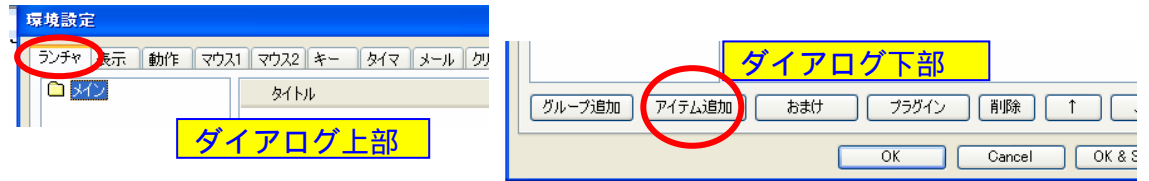
設定方法：解凍済みフォルダからファイル（「Claunch」と「ClHook.dll」）をコピーする。

使用 方法

「CLauncher」を起動し、ランチャーの右端をクリックして「環境設定」を選ぶ。

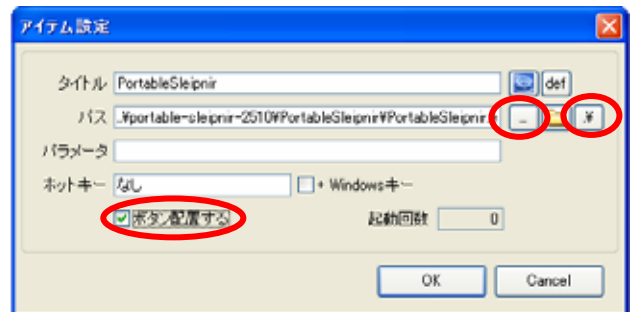


「環境設定」ダイアログの「ランチャ」タブを開き、「アイテム追加」ボタンをクリックする。



「ソフト選択」ボタンをクリックし、ソフトを選択する。

パスを「相対参照」に変更し、「ボタンを配置する」にチェックを付け、「OK」。



登録ソフトを追加する場合は、「環境設定」ダイアログの「アイテム追加」ボタンを押す。

ランチャーに登録したソフトを、「隠しファイル」に設定すると、誤って削除することが防げる。

- ・ 非表示にするフォルダを右クリックし、プロパティをクリックする。
- ・ 「全般」タブを開き、「隠しファイル」にチェックを入れる。

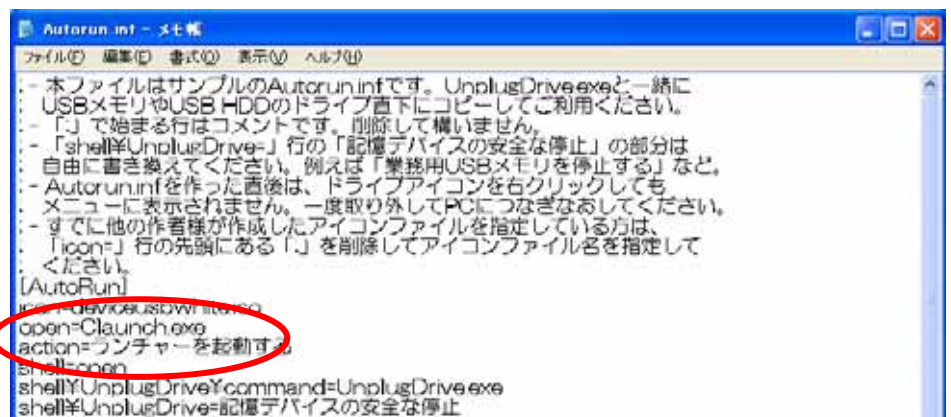
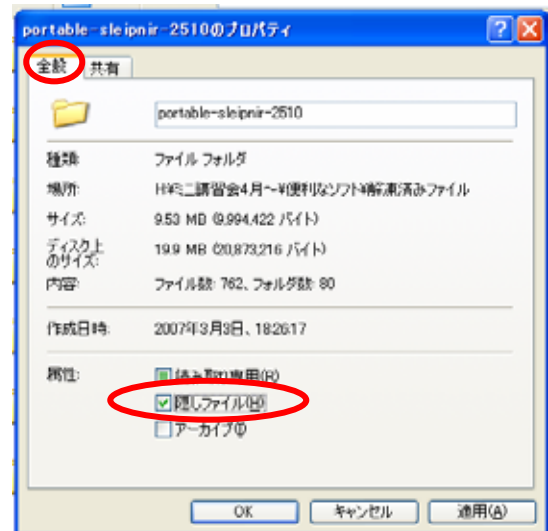
USB メモリーを開いたときに、直ちにランチャーが起動する設定にする。

前回、設定した「Autorun」ファイルを開き、「Shell=open」の前に

open=Claunch.exe

action=ランチャーを起動する

の2行を挿入する。



10. USB でスケジュール管理をする

常時持ち歩く USB メモリーを手帳代わりに使用する。

フリーソフト名：Schedule Watcher

設定方法：解凍済みフォルダを USB メモリーにコピーする。

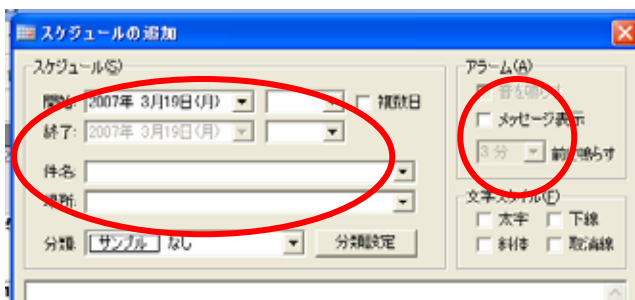
使用方法

起動すると、「初期設定」ダイアログが開くので、最初は何もしないで「OK」を押すと、月間スケジュール表が表示される。

表示されたスケジュールの日付を右クリックして「スケジュールの追加」を選ぶ。



「スケジュールの追加」ダイアログで、スケジュールを入力する。

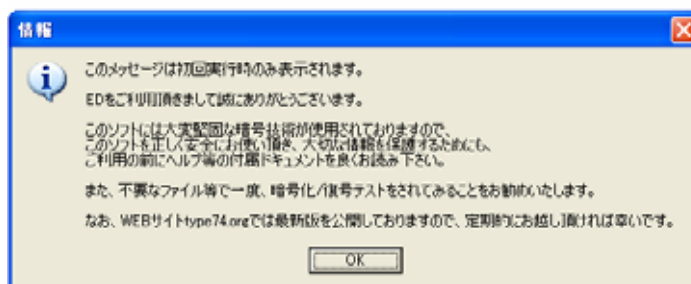


「アラーム」を設定しておくで、設定時間前にポップアップでスケジュールが表示されるので便利です。

11. ファイルを暗号化する

常時持ち歩く USB メモリーは、うっかり落したりすることもあります。重要な（他人に見られたくない）ファイルは、暗号化しておくで安心です。

（注）このソフトは使い方を間違えると、大事なファイルが失われてしまうので、不要なファイルで試行して、使い方を十分把握してから使ってください。「ヘルプ」ファイルをしっかり読むことをお勧めします。



フリーソフト名：ED

設定方法：解凍済みフォルダを USB メモリーにコピーする。

使用方法

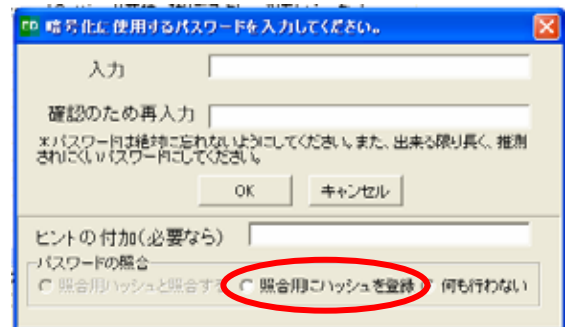
ソフトを起動し、暗号化したいファイルを「E」の文字上にドラッグし、表示された「ファイルの暗号化」ダイアログの「OK」を押す。

「暗号化に使用するパスワードを入力してください」のダイ



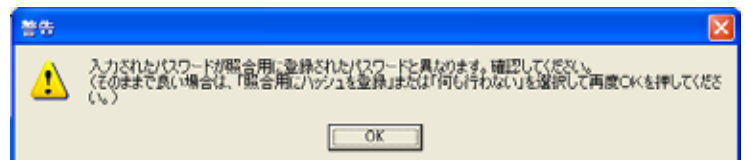
アログで「パスワード」を入力する。必要な場合は、「ヒント」（パスワードを忘れたときなどに対応。入力しなくても効力には関係ない。）を入力する。

「照合用にハッシュを登録」にチェックを入れておくと、そのパスワードを記憶し、次回、暗号化するとき前回と違うパスワードを使うと、再確認を促される（下図）。



（この機能は、一つのパスワードで多数のファイルを暗号化するとき便利です。暗号化、複合化のつ

どパスワードを要求されるので、パスワードをそのつど変えるのは大変と思います。）

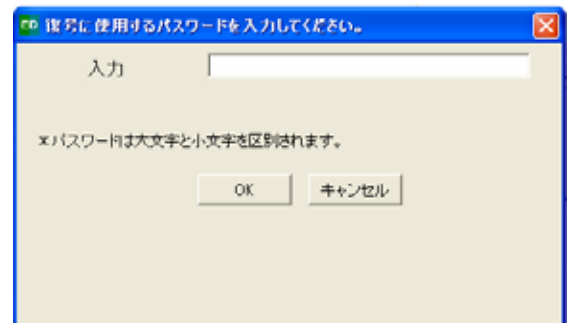


ファイルを暗号化するとアイコンが変わり、開こうとすると「このファイルは開けません」のダイアログが表示されます。

暗号化したファイルを復号化（元に戻す）する場合は、「ED」ソフトを起動して当該ファイルを「D」の文字の上にドラッグする。

表示された「ファイルの復号化」のダイアログの「OK」を押す。

「復号化に使用するパスワードを入力してください」ダイアログで、パスワードを入力し「OK」を押すと、暗号化されたファイルのアイコンが元のものに戻る。（普通に開くことが出来る。）



「オプション」を使うと、更に細かい設定が出来ますが、通常に使う場合は特に必要はないと思います。（オプションの説明は「ヘルプ」ファイルにあります。）

< 以 上 >